

【ベトナムー公益】

ニソン製油所、24 年はフル稼働超え達成



NSRP は、ニソン製油所の 2024 年の平均稼働率は 110% 超だったと発表した＝タインホア省

出光興産が出資するベトナム合弁会社ニソンリファイナリー・ペトロケミカル（NSRP）の大和一隆社長は 4 日、同社が北中部タインホア省で運営するニソン製油所の 2024 年の稼働率は通年平均で 110% 超だったと明らかにした。

NSRP は 23 年の定期補修により電力供給設備を修繕したことなどにより、運転再開後の操業が安定。稼働率は 100% を超える生産を実現した。25 年 1～3 月も高水準での稼働が続いているという。



高稼働率を背景に、最終損益（純損益）は 25 年度（25 年 4 月～26 年 3 月）に黒字化する見通しだ。

大和氏は、今後も原油輸入先の多様化や事業の多角化を通じて収益拡大に取り組み、財務の改善にも引き続き取り組んでいく方針だと語った。

NSRP には、出光興産とクウェート国際石油ヨーロッパの 2 社が各 35.1% を出資している。このほか国営ベトナム石油ガスグループ（ペトロベトナム）が 25.1%、三井化学が 4.7% を出資している。

【ベトナムー製造】

プレス金型の協栄プリント技研、越工場拡張

精密プレス金型の製造・販売を手がける協栄プリント技研（東京都調布市）が、今秋をめどにベトナムの首都ハノイにある工場を拡張することが 8 日までに分かった。

同社のベトナム法人、協栄ダイテックベトナムはタンロン工業団地で、◇プリント基板用プレス金型◇電子部材用プレス金型◇各種プレス金型◇精密治具◇精密切削部品——の製造・販売を行っている。

今年は同社にとってベトナム進出から 20 年という節目の年。レンタル工場の内装工事と設備投資に 9,000 万円を投じて、生産能力を既存の 1.5 倍に拡大する。当初は 1 月の拡張予定だったが、許認可の関係で秋にずれこんだという。



協栄プリント技研のハノイ工場内の様子（同社提供）

NNA アジアビジネスデータバンク 2025 年版

給与戦略策定に必須！ 独自調査による現地社員給与、昇給の最新データ